

暮らしのトラブル [4] 生活上でのご注意

1 結露と換気について

結露とは、空気中に含まれている水分が、気温の低下で液化することです。

室内の水蒸気が窓ガラスなどに触れ、冷やされて水滴になる現象で、特に冬季は暖房器具によって水蒸気が出るので、北側の部屋や外壁に面した押入れなどにも結露が起きやすいのです。

1. 結露を防ぐために、極端に暖かい部屋・寒い部屋をつくらないように、室内の温度差を少なくしましょう。また、家具・ベッド・布団・冷蔵庫は、壁から約10cmほど離して、風通しをよくしましょう。
2. 室内の湿気を抑え、換気をよくするために、室内には洗濯物を干さないようにしましょう。また、台所で炊事をするときは、必ず換気扇をまわしましょう。
3. 浴室は入浴後、ドアを握りこぶし1つほどあけて換気扇をまわし、湿気が無くなったことを確認してから換気扇を止めましょう。
4. 室内は1日1回すべての窓を開き、換気をおこないましょう。天気の良い日は、押入れの荷物を出し、内部を乾燥させるとともに布団を干すと良いでしょう。
5. 結露が発生したときは、乾いたタオルで拭き取り、乾燥させましょう。結露の発生原因が思い当たらない場合、壁の中や天井裏で発生した疑いがある場合は、弊社(または管理者)へご連絡ください。
6. 快適で健康的に過ごしていただくために室内換気に努め、新鮮な空気を取り入れるように心がけましょう。(特に、下駄箱・台所の戸棚・トイレ・浴室・洗面所・居室など、湿気が多い場所) また、押入れ・物入れなども換気が必要です。室内の窓とともにこまめに開けるように習慣づけましょう。

2 カビやダニについて

1. 室内の換気を怠り、結露を放置しておく、畳・襖・壁・天井などにカビが発生する場合があります。カビが生えてしまったら、漂白剤を水で薄めたものをブラシなどに湿らせて、そっとこすり落とす。その後、乾いたタオルや雑巾で漂白剤を拭き取り、乾かしましょう。
2. カビを放置し、掃除を怠ると、ダニが発生する場合があります。室内の換気と掃除をこまめにおこないましょう。市販のダニ除去剤も有効です。

3 凍結について

1. 凍結防止の対策は万全ですか？
冬季、注意報が出るほど気温が低い日は、就寝前に末端の水道の蛇口をひねり、少しずつ水を出し、水道の凍結を防止してください。(1分間で牛乳瓶1本程度が目安)
風呂釜も凍って破裂することがありますので、入浴後にすべて水を抜いてください。給湯器も同様です。一部の寒冷地では、日中でも凍結する場合がありますので、ご注意ください。
2. 特に寒冷地では、通電を確保するために、冬季に外出される場合はブレーカーを「切」にしないでください。ご入居者様が凍結防止の措置をおこなわず、給配水管を破損させた場合、ご入居者様のご負担で修理をしていただく場合もあります。

4 生活音と騒音について

1. 音は両隣だけでなく、上下にも響きます。共同住宅では、トイレや浴室での水音、ドアの開閉音がある程度響いてしまうとは避けられません。これを「生活音」として、ご理解願います。
2. 深夜の入浴・洗濯・掃除・テレビなどの音は「騒音」となりますので、ご注意ください。
3. お子さまのいるご家庭では、夜間に大声をあげたり、廊下や階段を勢よく走り回ったりすることがないように注意願います。ラグマットを敷くなどの遮音対策も効果的です。
4. 日頃から上下階・両隣の方々とはコミュニケーションを図り、生活音などについてはお互いに声をかけ合うことをおすすめいたします。

❗ 生活音であっても近隣に配慮を

たとえ生活音であっても、他のご入居者様にとって受忍限度を超えるものであった場合、損害賠償の対象となることがあります。

5 動物などの飼育について

1. 原則として、ペットは飼育できません。盲導犬・介助犬など特定の場合と、ペット可の物件を除き、室内および敷地内ではペット(特に犬・猫)の飼育と持ち込みはできません。
2. 万一ペットを飼育していることが判明した場合は、ご退去いただく場合もありますので、ご注意ください。
3. ペット可の物件の場合、飼育に関するルールに従ってください。